

ふれあいアンケート結果



市では、市民の皆さんの意見を市政に生かすため、6月から7月にかけて「都城市市民意識調査（ふれあいアンケート）」を実施しました。調査に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

今回は、満18歳以上の約13万人の市民の皆さんの中から無作為に選んだ3千人を対象に、本市の住みや

すさや、市の取り組み、キャッシュレス決済、環境問題、スポーツなどについて調査を行いました。

回答者は1,218人（男性515人、女性697人、その他6人）で、回答率は40.6%。詳しい結果は、市のホームページで紹介しています。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

【男女別回答者数】

性別	回答者	割合
男性	515	42.3%
女性	697	57.2%
その他	6	0.5%
計	1,218	100.0%

※回答割合は、少数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります

【年代別回答者数】

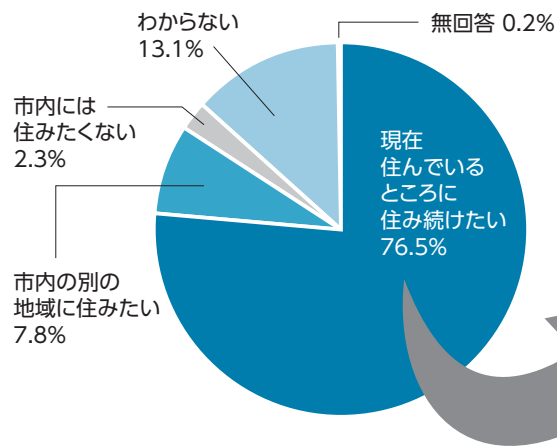
年代	回答者	割合
10代	12	1.0%
20代	103	8.5%
30代	132	10.8%
40代	195	16.0%
50代	197	16.2%
60代	254	20.9%
70代以上	319	26.2%
答えたくない	1	0.1%
無回答	5	0.4%
計	1,218	100.0%

【地区別回答者数】

地区	回答者	割合
姫城	99	8.1%
妻ヶ丘	158	13.0%
小松原	100	8.2%
祝吉	151	12.4%
五十市	114	9.4%
横市	101	8.3%
沖水	116	9.5%
志和池	43	3.5%
庄内	54	4.4%
西岳	7	0.6%
中郷	68	5.6%
山之口	39	3.2%
高城	67	5.5%
山田	47	3.9%
高崎	49	4.0%
無回答	5	0.4%
計	1,218	100.0%

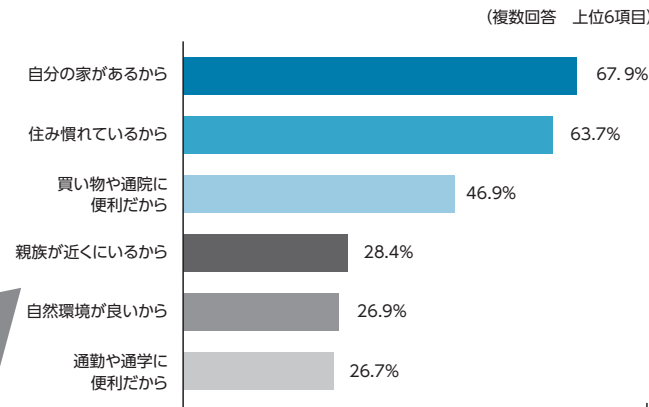
01 都城市の住みやすさ

Q これからも都城市に住み続けたいですか。



【解説】 約84%の人が「現在住んでいるところに住み続けたい」「市内の別の地域に住みたい」と回答しています。年代別では、60代の約91%が最も多く、70代以上、30代、50代の順になっています。

Q 「現在住んでいるところに住み続けたい」と答えた理由を教えてください。



住み続けたい理由については、「自分の家があるから」「住み慣れているから」が高い結果となりましたが、年代別で見ると、20代は「買い物や通院に便利だから」が最も多い結果となりました。

スマホでラクラク！ マイナンバーカード



大変そうなイメージがあるマイナンバーカードの更新。今回は、スマホで簡単に更新できる方法を紹介します。

◎問い合わせ
マイナンバーカード
サポートセンター
☎23-2774

準備するもの



QR付き交付申請書



QR付きでない場合は、電子証明書の更新です。市役所や各総合支所、市民センターで手続きください。

STEP 1

スマホのカメラで交付申請書に記載されたQRを読み取り、申請用ウェブサイトにアクセスし、メールアドレスを登録。



STEP 2

登録したメールアドレスに通知される申請者専用ウェブサイトにアクセスし、顔写真を登録。
※顔写真は申請途中で撮影可



STEP 3

画面の案内に従って申請に必要な情報を入力し送信。
【入力項目】
・生年月日
・電子証明書の発行の希望有無
・氏名の点字表記の希望有無

STEP 4

登録したメールアドレスに申請完了のメールが届く。
※カードができるまで1～2カ月程度かかります



マイナンバーカードができたら「交付通知書（はがき）」が自宅に届く。



必要な持ち物を持参し、期日までに申請者本人が市役所・支所窓口で受け取り。

受け取り

令和5年度の環境監視員の活動報告で最も多かったのは不法投棄でした。一方で、空地の雑草問題や水質汚濁、騒音、振動、樹木などの越境などさまざまな問題も報告されています。環境問題は身近で多岐にわたります。

環境問題はさまざまです

環境監視員は、公害対策などのパトロールに加え、ごみが捨てられそうな場所を巡回しながら不法投棄の監視を行うなど、住み良い生活環境と美しい自然環境を守るため、日々精力的に活動を行っています。



環境監視員のパトロール活動

美しい環境を守りましょう

◎問い合わせ

環境政策課 ☎23-2130
各総合支所 地域生活課



山田地区環境監視員
加賀 健三 さん
(山田町中霧島)

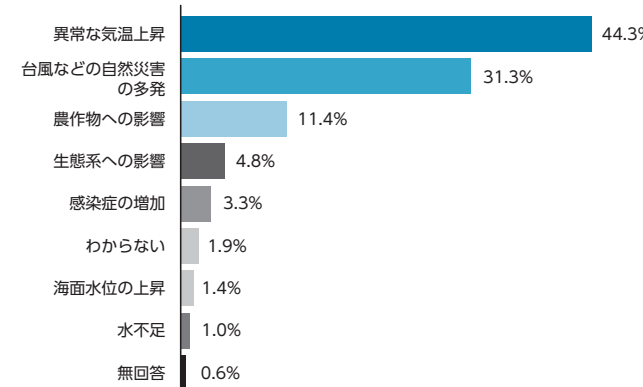
山田地区の環境監視員として、地域のパトロールを行っています。パトロールでは、不法投棄や樹木などの越境が多く見られていて、市と連携して改善を図っています。本活動を行っている、これまでは気が付かなかった環境問題も把握す

るようになり、自身の環境への意識が変わったことを実感しています。

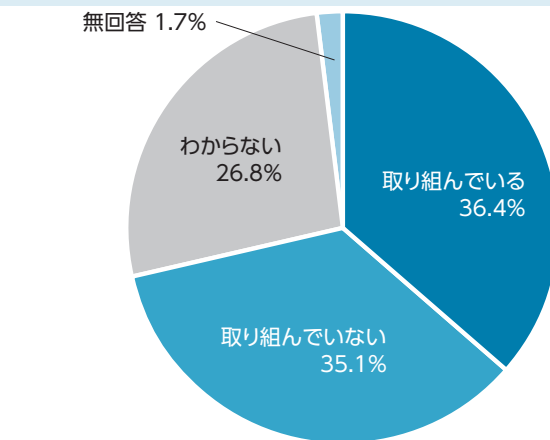
美しい環境を守り、次の世代に引き継いでいくためには、一人一人の心掛けが大切です。誰かだけが頑張るのではなく、地域全体で取り組んでいきましょう。

04 環境問題に対する関心・活動

Q 地球温暖化の影響について、最も関心のある項目を、1つだけ選んでください。



Q 本市では、令和5年3月に都城市ゼロカーボンシティ宣言を行いました。家庭でカーボンニュートラルに関する取り組みを行っていますか。

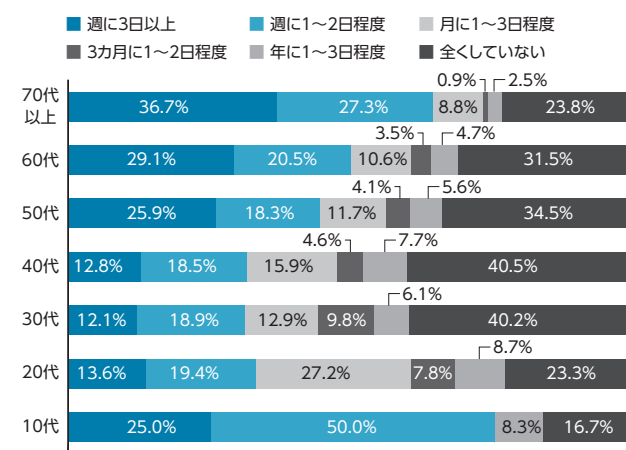
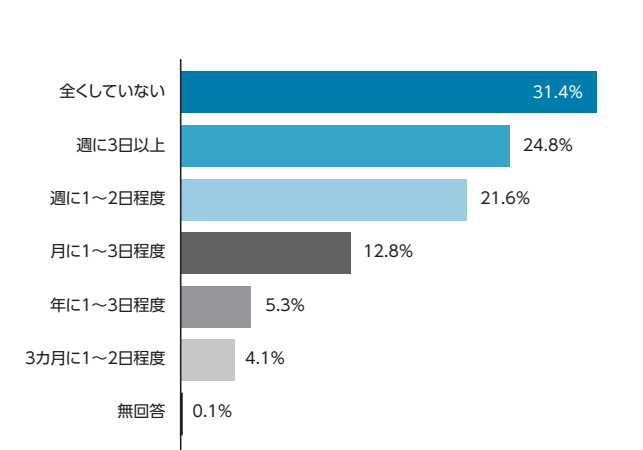


【解説】 地球温暖化の影響で関心のある項目は、「異常な気温上昇」が44.3%と最も多く、次いで「台風などの自然災害の多発」が31.3%となり、多くの人が身近なところで影響を感じていることがうかがえます。

地球温暖化対策となるカーボンニュートラルの取り組みは、「取り組んでいない」が35.1%、「わからない」が26.8%あったことから、その理解促進に努めていく必要があります。

05 スポーツ活動

Q 健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ（体操やウォーキングなどを含む）を行っていますか。

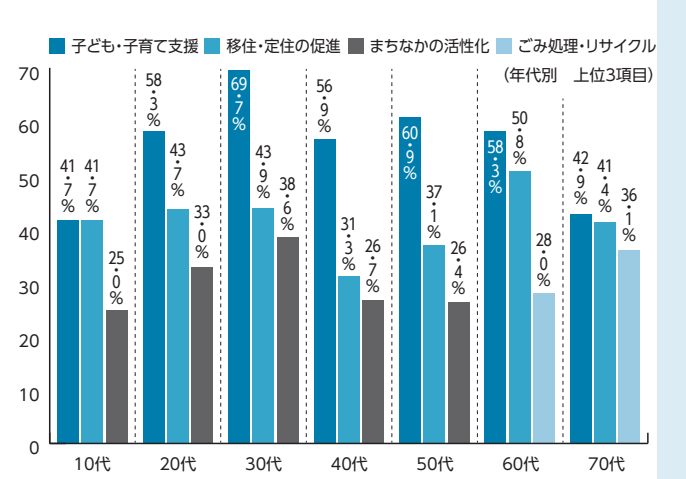
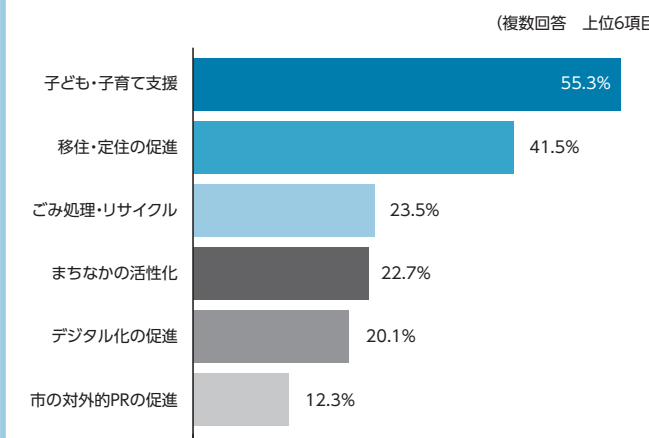


【解説】 運動やスポーツの頻度は、「週に3日以上」が24.8%、「週に1～2日程度」が21.6%で、約半数の人が日頃から取り組んでいることが分かりました。一方で、「全くしていない」が31.4%に上りました。

年代別では、70代以上は64%、60代は約50%が週に1回以上運動をしていると回答した一方、30代と40代の約40%が「運動やスポーツを全くしていない」と回答しています。

02 都城市の取り組み

Q 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

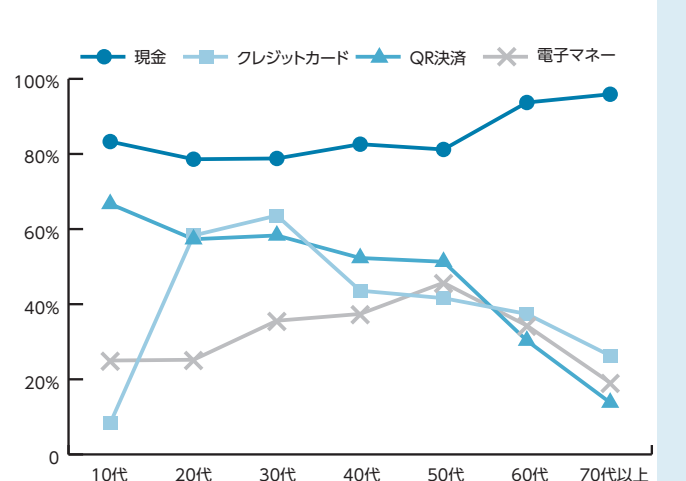
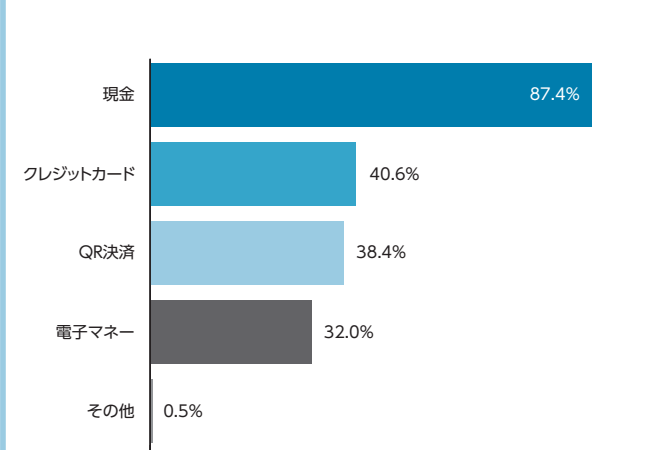


【解説】 市が行っている施策や事業の中で、以前に比べて良くなっている項目は、「子ども・子育て支援」が55.3%と最も高く、次いで「移住・定住の促進」41.5%、「ごみ処理・リサイクル」23.5%、「まちな

かの活性化」22.7%となりました。年代別でも、全ての年代で「子ども・子育て支援」および「移住・定住の促進」の2つの取り組みが高く評価されていることが分かりました。

03 キャッシュレス決済の利用

Q 市内での買い物の際、どのような手段で支払いますか。（当てはまるもの全て選択）



【解説】 市内で買い物する際の支払い方法について、全ての年代で最も多かったのが「現金」で87.4%、次いで「クレジットカード」が40.6%となりました。年代別では、「QR決済」は10代から50代まで50%

を超えていて、幅広い年代で利用されていることが分かりました。市内店舗などでも、キャッシュレス決済の利用が拡大していることがうかがえます。